保証とアフターサービス

1 この製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3 保証期間後の修理は・・・
販売店または当社サービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

この製品についてのご質問は
株式会社 **シー・シー・ピー サービスセンター**
TEL.03-3527-8899　FAX.03-3527-8956
営業日：月曜～金曜（但し、祝日は除きます）お電話受付時間 9：30～17：00
〒135-0064 東京都江東区青海3丁目2番17号
ワールド流通センターA棟 ユニエックス倉庫内

愛情点検　長年ご使用の加湿器の点検を！

このような症状はありませんか？
- ●スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。
- ●本体が変形したり、異常に熱い。
- ●こげくさい臭いがする。
- ●その他の異常、故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、ただちにご使用を止めていただき、必ず販売店または当社サービスセンターに点検をご相談ください。

株式会社 **シー・シー・ピー**　本 社：〒111-0043　東京都台東区駒形2-5-4

OM1

キリトリ線

ハイブリッド加湿器保証書

持込修理

品番		KJ-366HE			
お客様	お名前	様			
	ご住所	〒 電話番号（　　　）　－			
お買い上げ日		年　月　日		取扱販売店	住所・電話番号 ☎　　　㊞
保証期間	お買い上げ日より	対象部分			
	1年	本体 消耗部品は除く			

本書はお買上げの日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
詳細は裏面をご参照ください。

株式会社 **シー・シー・ピー**
〒111 -0043
東京都台東区駒形2 -5 -4

CCP'S

取扱説明書

保証書付

ハイブリッド加湿器

ハイブリッド機能で

ハイブリッド

超音波 ＋ 補助ヒーター

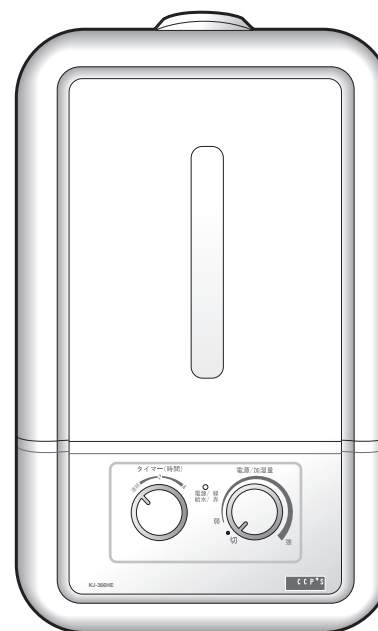
霧化　　加熱

霧化=超音波振動で水を細かい霧状にします。

加熱=ヒーターにより水をお湯にして霧化しやすくします。

「超音波」と「ヒーター」方式を組み合わせることによって、低電力で高効率の省エネ加湿を実現します。

家庭用

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源・電圧が異なりますので使用できません。
This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.

このたびはお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- ● 取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ● お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

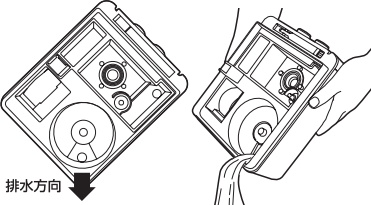
も く じ

安全上のご注意 ―必ず守ってください―

ご使用の前に、必ずお読みください。また、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

◎ここに示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ず守ってください。

誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を表わす図記号です。

警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表わしています。
注意	「傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容」を表わしています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない「禁止」の内容を表わしています。
	必ず実行していただく「強制」の内容を表わしています。

⚠ 警告

分解禁止

改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。

禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない

また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

使用禁止

電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

幼児の手の届く範囲で使用しない

使用禁止

感電・けがの原因になります。

禁止

吹き出し口から噴霧される霧は吸入しない

健康を害する場合があります。

使用禁止

本体内部のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使用しない

霧化部に洗浄剤が残り、有毒ガスが発生したり故障の原因になります。

水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電・火災の原因になります。

プラグを抜く

お手入れの際は必ず差し込みプラグをコンセントから抜く

感電やけがの原因になります。

プラグを抜く

異常時（こげくさい臭いなど）は、運転を停止して差し込みプラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。

禁止

吹き出し口や本体のすき間にピンや針金などの異物を入れない

感電やけがの原因になります。

使用禁止

交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。

排水方向から

排水方向から排水する

排水方向を誤ると、本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。

(⇒13 p 参照)

ぬれ手禁止

ぬれた手で、差し込みプラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

⚠ 注意

プラグを持って抜く

差し込みプラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。

プラグを抜く

使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く

けがややけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

禁止

使用中や使用直後はお手入れをしない

けがややけどの原因になります。

使用禁止

水タンクをはずして使用しない

水が飛び散って床をぬらしたり送風筒から水が入り故障の原因になります。

禁止

不安定な場所には置かない

水がこぼれて床をぬらしたり、故障の原因になります。

禁止

使用中は本体を持ち運ばない

水がこぼれて床をぬらしたり、故障の原因になります。

水を入れ替える

水タンクの水は毎日新しい水道水に入れ替える

水槽部に残っている水も、ご使用のつど捨ててください。また、水槽部や霧化部は1週間に1～2回以上はお手入れして常に清潔な状態でお使いください。

使用禁止

電気製品やパソコン・精密機器などがあるところでは使用しない

湿気や白粉の影響により、機器の故障を引き起こす場合があります。

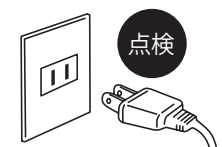
プラグの点検

ときどきは電源コンセントやプラグの点検をおこなう

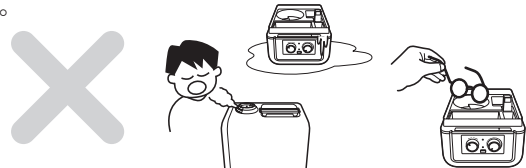
長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり湿気が加わることで電流が流れ、火災の原因になることがあります。差し込みプラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は特に危険です。

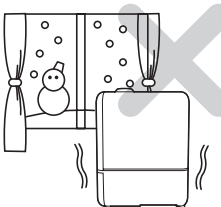
◆おもわぬ事故を防ぐために…

- ●コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- ●差し込みプラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- ●コンセントや差し込みプラグに異常がないか確かめる。

ご使用にあたってのお願い

故障や事故などを防ぐために、必ずお守りください。

水タンクをはずして使用したり、加湿以外の目的では使用しない

床をぬらしたり、故障やけがなどの原因になります。

凍結に注意する

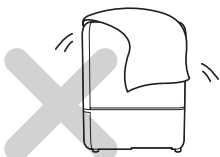
凍結のおそれがあるときはタンクと本体の水を捨ててください。凍結すると、故障の原因になります。

水を入れた水タンクを持ち運ぶときは静かに

水を入れた水タンクは大変重くなっています。持ち運ぶときに振り回したりすると、おもわぬけがや破損、水漏れの原因になることがあります。

加湿しすぎない

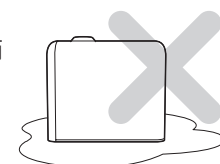
加湿しすぎると室内をぬらしたり、故障の原因になります。

吹き出し口をふさがない

カーテンやタオルなどで吹き出し口をふさぐと、変形や故障の原因になります。

水タンクを本体にセットしたあとや、本体に水が入っているときは、傾けたり持ち運んだりしない

水がこぼれて周囲をぬらしたり、機器の中に水が入って故障の原因になります。

水を入れた水タンクを床やテーブルなどに直接置かない

水タンクの底に付着した水滴がこぼれたり、タンクキャップから水が漏れて周辺をぬらすことがあります。

本体内のお手入れをこまめにおこなう

水槽部や霧化部に水あかなどが付着したまま使い続けると、誤作動したり、故障の原因になります。
（⇒13 p 参照）

次の場所では使用しない

直射日光があたる窓際や暖房機の上や近く、エアコンやファンヒーターなどの風が直接あたる場所

変形・変色をしたり、本体や水タンクの温度が異常に上がり、水漏れや誤作動の原因になります。

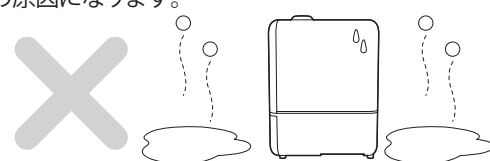
熱に弱い家具や床などの上

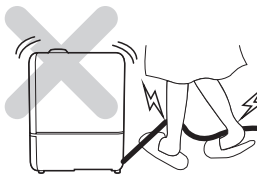
本体底面の熱により変色したり、変形の原因になることがあります。

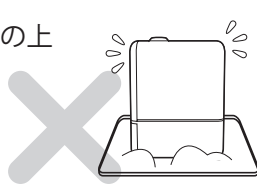
磁気の多いところ

誤作動の原因になります。

湿度の高いところ

故障の原因になります。

人がよく通るところ

ぶつかったり、電源コードに引っかかると、加湿器が倒れて水がこぼれたり故障の原因になります。

カーペットやふとんなどの上

本体底面の吸気口がふさがれると誤作動や故障の原因になります。

設置場所のご注意

本機は非常に大きな加湿能力があり、設置場所や設置方法によっては、
周辺の家財などに悪影響を及ぼすことがございます。
以下の設置場所に関するご注意をよくお読みになり正しくご使用ください。

精密機器／電気製品のあるお部屋でご使用になるとき

パソコン／携帯電話などの精密機器やテレビ／音響機器などの電気製品の上や近くには絶対に置かないでください。
万が一、水がこぼれたりした場合、機器の内部に水が入り、火災や感電、故障の原因になります。
また、これらからできるだけ離れた場所に設置して「吹き出し口から出る霧」が直接かからないようにしてください。
直接、霧がかかりますと、ぬれたり、霧に含まれている白い粉*が内部に付着して故障の原因になることがあります。
やむをえずこれらの近くに設置するときは、「吹き出しノズル」の向きや「加湿量つまみ」を調節して、霧が直接かからないように十分注意してください。

家具やカーテンなどが近くにあるとき

家具やカーテンなどからできるだけ離れた場所に設置して「吹き出し口から出る霧」が直接かからないようにしてください。
直接家具やカーテンに霧がかかりますと、変質／変色したり、カビや異臭の原因になることがあります。
また、霧に含まれる「白い粉*」が家具などの表面に付着することがあります。
この「白い粉*」は通常ぬれたタオルなどでふき取れますが、一部の家具では、材質や表面の処理の関係でふき取りにくいことがありますのでご注意ください。
（高価な家具があるお部屋でご使用の場合は特にご注意ください。）
やむをえずこれらの近くに設置するときは、「吹き出しノズル」の向きや「加湿量つまみ」を調節して、霧が直接家具などにかからないようにしてください。

その他で設置に際しご注意していただきたい場所

床や畳の上に直接設置する場合

加湿量が多すぎますと「吹き出し口から出る霧」で床や畳をぬらすことがあります。
「加湿量つまみ」を調節して、周辺がぬれないように十分注意してください。

ふすまや障子、書物、ポスターなどの紙類や壁などの近く

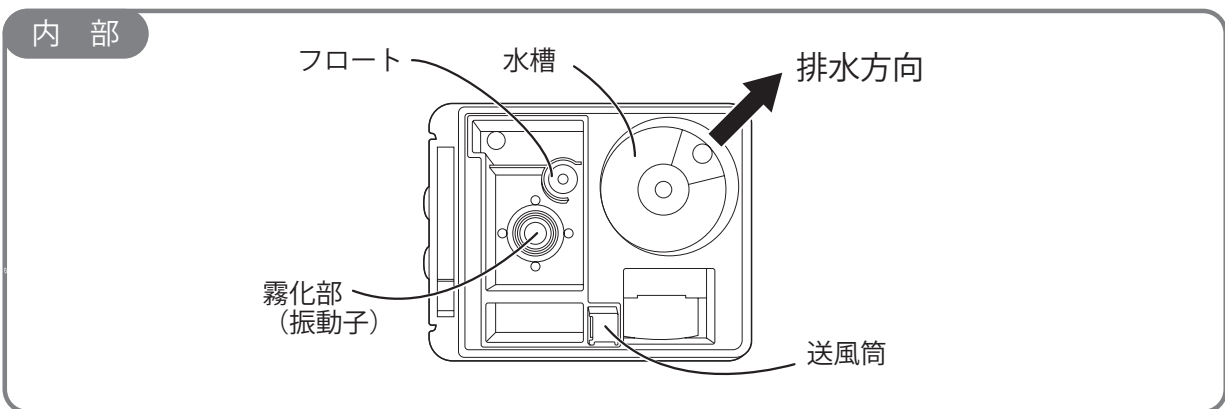
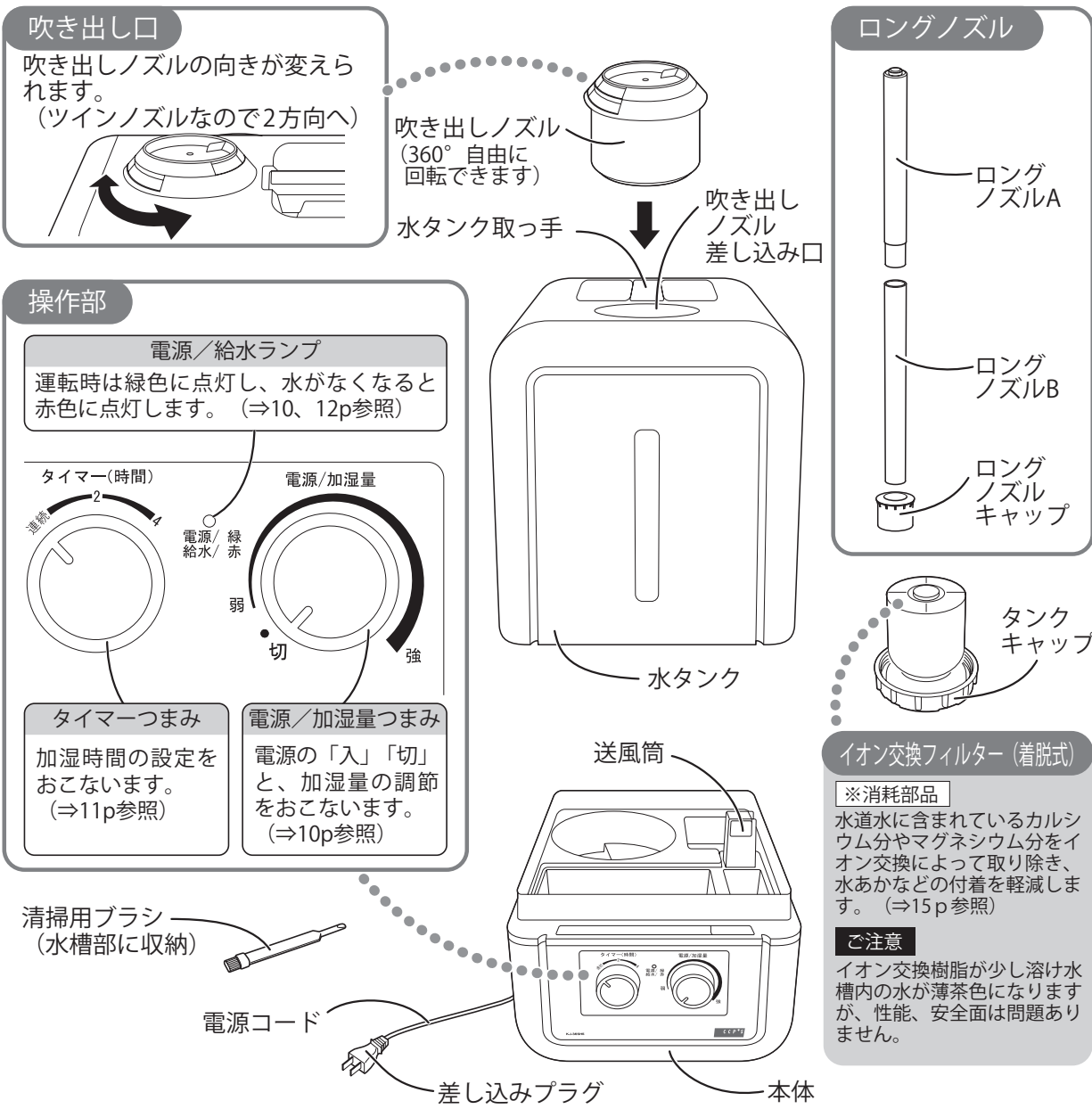
「吹き出し口から出る霧」が直接かかりますと、変色やシミの原因になることがあります。
「吹き出しノズル」の向きや「加湿量つまみ」を調節して、霧が直接かからないようにご注意ください。

*上手な使いかた（白い粉について）

本機は「超音波」+「ヒーター」のハイブリッド式を採用しております。構造上、霧に含まれる「白い粉」が周辺に残ることがあります。
この白い粉は、霧（水道水）の中の「カルシウム」や「マグネシウム」成分であり、人体には無害ですが、家財などに大量に付着すると悪影響をおよぼすことがあります。
白い粉が目立つときは、ご使用の環境にあわせて加湿の量や吹き出しノズルの向きを調節して上手にお使いください。

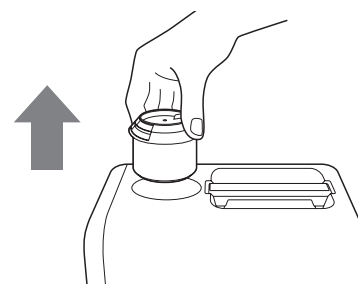
各部のなまえとはたらき

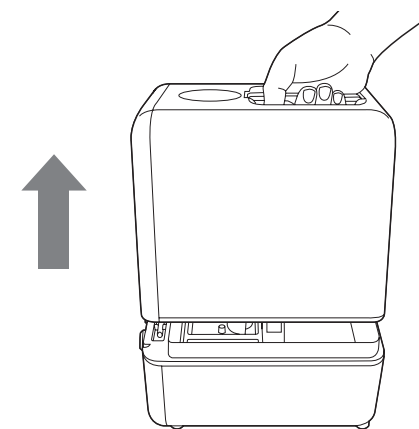
内部

フロート
水槽
排水方向
霧化部（振動子）
送風筒

使いかた

タンクに水を入れる

1 水タンクから吹き出しノズルをはずす

※吹き出しノズルをつけたまま水タンクを逆さまにすると吹き出しノズルが落下します。
必ず、吹き出しノズルをはずしてください。

2 本体から水タンクをはずす

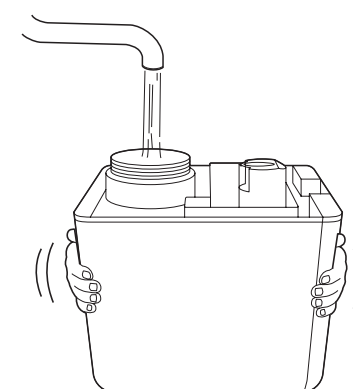
※水槽に水が入っているときは水タンクの下に付着した水がこぼれることがあります。
タオルなどを敷いて周辺をぬらさないように注意してください。

3 タンクキャップをはずし、水タンクに水道水を入れる

※本体や水タンクにアロマオイルや芳香剤、洗剤、化学薬品、温水（40℃以上）などを入れないでください。
水タンクや内部の部品に悪影響を与え、故障の原因になることがあります。

※水道水以外の水（ミネラルウォーター、地下水、温泉水、アルカリイオン水、次亜塩素酸水）を入れないでください。
水の成分によっては内部に悪影響を与え、故障の原因になることがあります。

※本体や吹き出し口に直接水を入れないでください。
本体内部に水が入り故障の原因になることがあります。

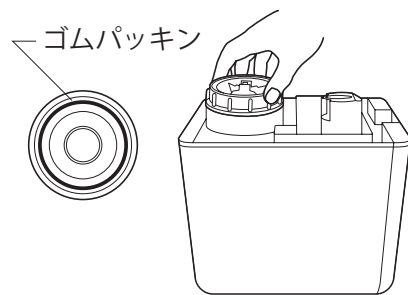
※水タンクをぶつけたり、落としたりしないでください。
水タンクに衝撃を与えますと破損して水漏れの原因になります。
万一、水タンクに大きな衝撃を与えてしまったときは、使用しないで弊社サービスセンター（⇒巻末参照）にご相談ください。

※水タンクの水は毎日交換して常に清潔にご使用ください。

満水で約6.5リットル入ります。

Point 水タンクに水を入れると重くなります。
水タンクをしっかりと支えて落とさないように十分注意してください。

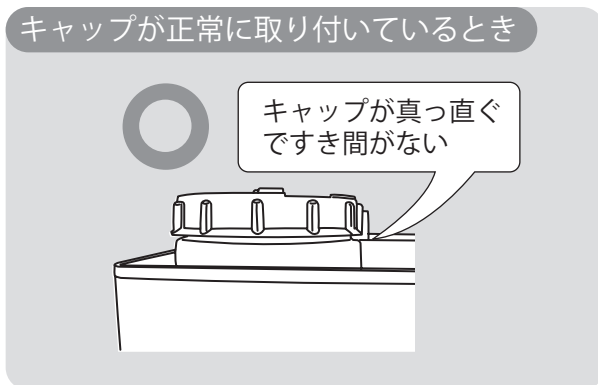
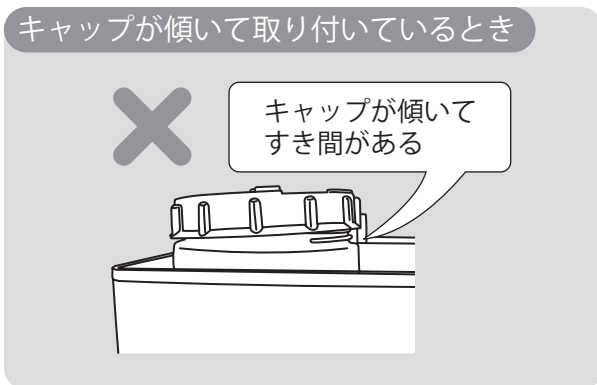
4 タンクキャップをしっかりとめる

※ゴムパッキンがタンクキャップに取り付いていることを確認してください。また、キャップはしっかりしめ付けてください。

ゴムパッキンが取り付いていなかったり、キャップのしめ付けが弱いとタンクに空気が混入して、水漏れの原因になることがあります。

Point 水タンクのキャップを取り付けるときは必ずキャップを真っ直ぐにしめ付けてください。
水タンクのキャップが傾いて取り付いてしまうと、水タンクとキャップのすき間から水漏れしたり、ご使用中に水があふれたりして、床などをぬらしてしまう原因になります。

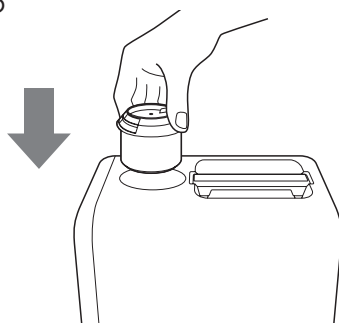
水タンクのキャップを取り付けたあとは、必ず下記の点をご確認ください。

キャップが傾いて取り付いているとき

キャップが正常に取り付いているとき

5 水タンクを本体にセットし、吹き出しノズルを取り付ける

※水タンクをセットしたあとは本体を移動したり、水タンクの取り付け、取りはずしをむやみに繰り返さないでください。

水がこぼれて周囲をぬらしたり、故障の原因になります。

※吹き出しノズルを取り付けないで運転すると霧で本体や周辺がぬれます。必ず運転前に吹き出しノズルを取り付けてください。

運転前に知っておいていただきたいこと

- 初めてお使いになるときや水を入れ替えたときは、水タンクを本体にセットしてから霧が出るまでに時間がかかります。

  これは、水が「イオン交換フィルター」を通過したり、本体水槽内に水が行きわたるまでに時間がかかるためです。この場合は、水タンクをセットしてから5〜10分程度まってから電源を入れてください。

Point 水タンクの水が少ないと、水が「イオン交換フィルター」を通過するのに時間がかかり、霧が出るまで長い時間かかることがあります。水は「水タンクの半分以上」を目安に補給することをおすすめします。

イオン交換フィルターにより水が茶色に着色されることがあります。

本機に使用しております「イオン交換フィルター」は内部のイオン交換樹脂の作用により、使い始めに水槽内の水が茶色に着色することがあります。
そのままご使用いただいても、安全面や性能面に支障はございません。
気になるときは、一度水槽の水をすべて捨てていただき、再度水タンクを本体にセットしてからご使用ください。

- 水タンクに水を入れてから運転停止状態で長時間放置しないでください。

  運転停止状態では水タンク内の圧力が上がり、水漏れの原因になることがあります。ご使用時以外は必ず水タンクと水槽内の水を全て抜いておいてください。（水槽内の排水のしかたは⇒13ページを参照してください。）

- 運転を始めた直後は霧が安定しないことがあります。

  これは水道水の水温や水質により振動子での霧化が安定するまで時間がかかるためです。10〜15分運転することにより、徐々に霧の量が安定してきます。

ハイブリッドの特長について

本体内蔵ヒーターのはたらきにより、タンクの水を加熱してから霧化部（振動子）に送り、あたたかな霧として吹き出します。
あたたかな霧により、加湿効率を上げることができます。
また、あたたかな霧を吹き出すので周囲の温度も下げません。

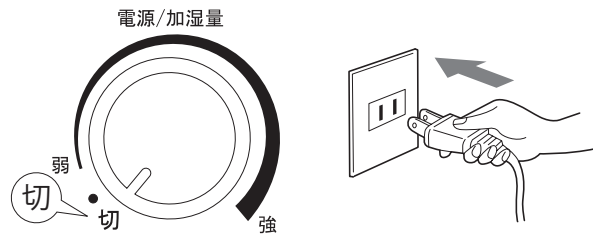
※吹き出し口から出てくる霧が **10〜20分後** にあたたかい霧に変わります。

Point あたたかい霧が吹き出すまで10〜20分ほどかかります。
これは、ヒーターが加熱してから水槽内の水をあたたかくするまで時間がかかるためです。

※本機は約40℃の霧を吹き出しますが、まわりの温度や湿度の状況によっては、霧があたたかく感じにくいことがあります。

運転のしかた

1 差し込みプラグをコンセント（交流100V）に差し込む

●電源／加湿量つまみが「切」の位置になっていることを確認してください。

電源/加湿量
弱
切
強

電源コード・差し込みプラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

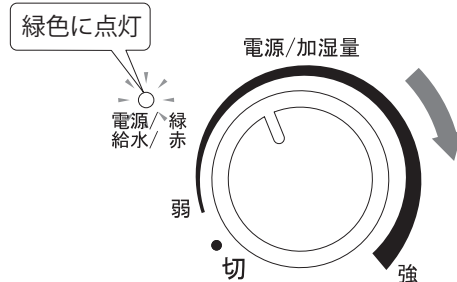
⚠注意

水のない時や本体を倒した状態では絶対に通電しない

故障の原因になります。

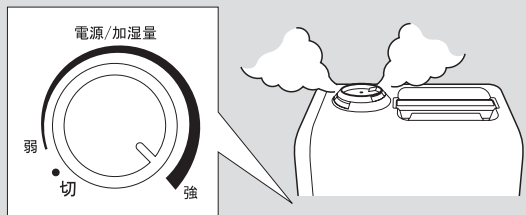
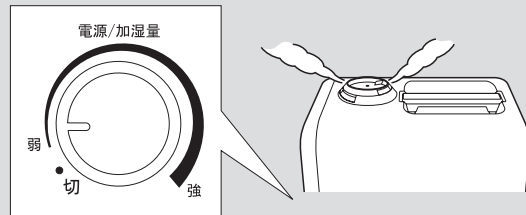
2 電源／加湿量つまみを右の方向にまわす

●電源ランプが緑色に点灯し、運転を開始します。
●吹き出し口から霧が出はじめます。

Point
- ●電源ランプが赤色に点灯するときは、水が完全に供給されていません。一度、電源／加湿量つまみを「切」の位置に戻して、しばらく待ってから再度、電源／加湿量つまみを右にまわしてください。
- ●運転をはじめた直後は霧が安定しないことがあります。10〜15分運転することにより、徐々に霧の量が安定してきます。

加湿量を調節する

調節のしかた

●加湿量つまみを「強」の方向にまわすと加湿量が強く（多く）なり、「弱」の方向にまわすと弱く（少なく）なります。
●お好みの加湿量に調節してお使いください。

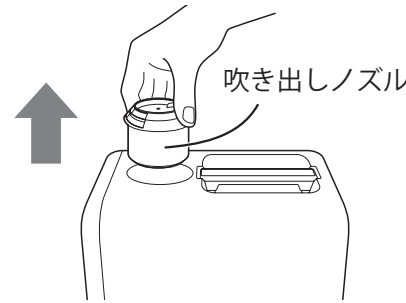
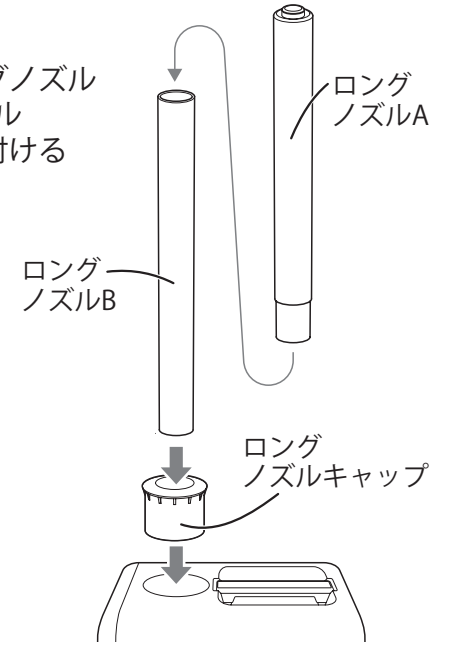
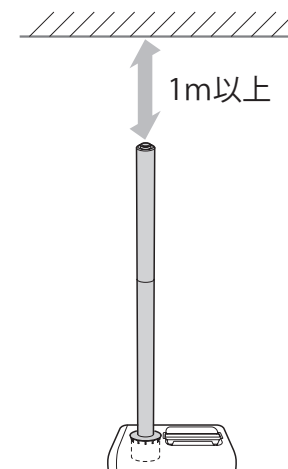
加湿量つまみが「強」のとき

加湿量つまみが「弱」のとき

「加湿量つまみ」が「弱」の時は、まわりの湿度条件により、霧が見えにくいことがあります。

Point 加湿のしすぎに注意してください。

加湿量が多すぎますと、床や置き台などの表面が霧でぬれることがあります。また、精密機器や電子機器、家具などに直接霧がかからないように十分注意してください。（⇒5ページの 設置場所のご注意 をよくお読みください。）

ロングノズルを付けて運転する場合

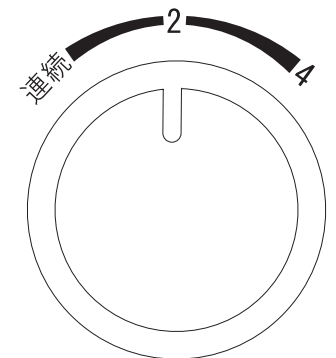
●広範囲にわたって加湿する場合に便利です。

1 吹き出しノズルを取りはずす

2 図のようにロングノズルA,Bとロングノズルキャップを取り付ける

Point ロングノズルの先端から天井までの距離が1m以上離れている場所でご使用ください。

タイマー機能の使いかた

タイマー機能とは

指定した時間、加湿器を働かすことができます

●連 続　：タンクの水がなくなるまで運転が続きます。
●2（時間）：約2時間、加湿器が働き、その後自動的に停止し電源が切れます。
●4（時間）：約4時間、加湿器が働き、その後自動的に停止し電源が切れます。

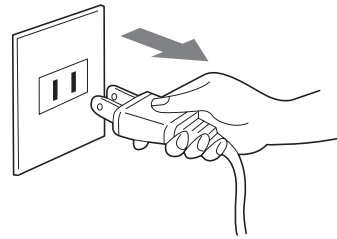
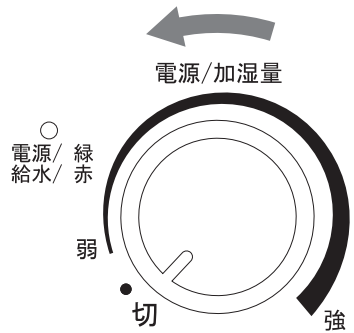
Point 再度、加湿器を働かせるためには、一度 電源／加湿量つまみを「切」にして、再度電源を入れ直してください。

お知らせ ガスコンロなどの近くで加湿器を使用したとき、まれに炎が赤くなることがあります。これは、霧に含まれる水道水の成分が炎に反応（炎色反応）するもので故障ではありません。
気になるときは、加湿器の設置場所を変えてください。

お手入れと保管

運転を停止する

1 電源／加湿量つまみを左の方向にまわして「切」にする

●電源が「切」になり運転が停止します。

2 差し込みプラグをコンセントから抜く

タンクの水がなくなったら

使用中にタンクの水がなくなると自動的に運転を停止し、給水ランプが赤色に点灯してお知らせします。

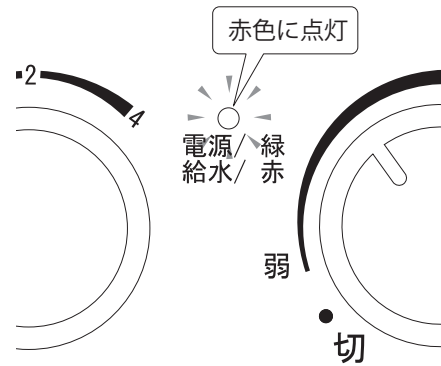
●電源／加湿量つまみを「切」にしてください。

Point
●給水ランプが点灯しているときは、内部の水位検知（フロート）で運転を停止しています。この状態で水タンクを持ち上げますと、一時的な水位変動により振動子が作動して周辺をぬらすことがあります。必ず電源／加湿量つまみは「切」にしてください。
●水が無くなる直前に給水ランプが点滅したり、霧の吹き出しが不安定になることがありますが、この現象は水位検知（フロート）の特性によるもので故障ではありません。

●つづけてご使用になる場合は、7〜8ページに記載されている タンクに水を入れる の手順で補給してから、再度、電源／加湿量つまみをまわして、電源を入れてください。

※水タンクを持ち上げますと、タンクの底面に付着した水がこぼれることがあります。
水タンクを持ち上げるときは、タオルなどを用いて床や家具などをぬらさないようにご注意ください。

※水タンクに水を補給するときは、必ず「吹き出しノズル」をはずしてください。
吹き出しノズルをつけたまま水タンクを逆さまにすると吹き出しノズルが落下します。

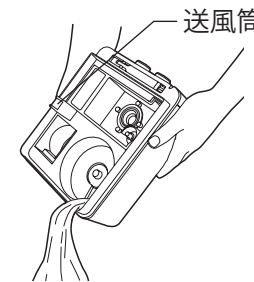
※水タンクを落としたり、ぶつけたりしないように十分注意してください。
水タンクに衝撃を与えますと破損して水漏れが発生するおそれがあります。
万一、水タンクに大きな衝撃を与えてしまったときは、使用しないで弊社サービスセンター（⇒巻末参照）にご相談ください。

お手入れのしかた

⚠警告
お手入れの際は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。

排水のしかた

Point 排水する前に、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

1 水タンクを本体からはずす

2 本体を図の方向に傾けて排水する
※排水時、送風筒から水が入らないよう注意してください。

⚠注意

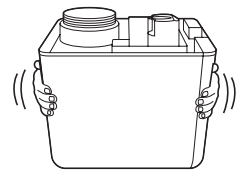
排水は、必ずお湯が冷めてからおこなう	必ず排水方向から排水する 排水方向を誤ると、水もれや火災・感電・ショートの原因になります。

水タンク・吹き出しノズル（給水時に）

1 吹き出しノズルをはずし、水タンク内に残っている水を捨てる
※吹き出しノズルをつけたまま水タンクを逆さまにすると吹き出しノズルが落下します。
必ず先に吹き出しノズルをはずしてください。

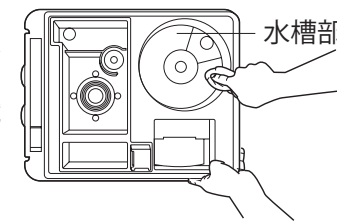
2 水タンク内に少量の水を入れ、タンクキャップをしめてよく振り洗いしたあと排水する
●2〜3回繰り返してください。

3 吹き出しノズルの汚れを水洗いしたあと、柔らかい布で拭き取る

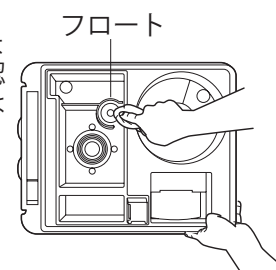
Point 水タンクに衝撃を与えると破損して水漏れが発生する原因になります。万一、水タンクに大きな衝撃を与えてしまったときは、使用しないで弊社サービスセンター（⇒巻末参照）にご相談ください。

水槽部・霧化部・フロートなど（1週間に1〜2回以上）

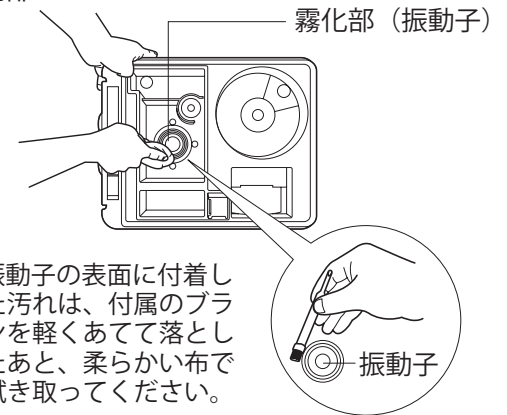
水槽内

◎水を浸した柔らかい布で水槽の内側に付着した汚れを拭き取ってください。

◎細部の汚れは、付属のブラシで落としたあと、柔らかい布で拭き取ってください。

フロート

◎フロートの回りにゴミなどが入っていないか確認し、ゴミなどがある時は取り除いてください。

◎細部の汚れは、付属のブラシで落としたあと、柔らかい布で拭き取ってください。

霧化部

◎振動子の表面に付着した汚れは、付属のブラシを軽くあてて落としたあと、柔らかい布で拭き取ってください。

お願い 振動子の表面を金属ブラシや金属ヘラ、研磨剤入りのタワシやミガキ粉などで絶対にこすらないでください。
変形したり傷がつくと加湿量が弱くなったり、故障の原因になります。

安全上のご注意
ご使用にあたってのお願い
各部のなまえとはたらき
使いかた
お手入れと保管
修理を依頼される前に

本体

◎本体外側は、水を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

⚠注意

本体の丸洗いはしない
感電や故障の原因になります。

シンナー、ベンジン、ベンゾール、ミガキ粉、たわしなどを使用しない
変質・変色の原因になります。

保管のしかた

- ●お手入れしたあと水をよく拭き取り、水タンクや本体をかげ干ししてください。
- ●水タンクや本体内に残り水がないか確認してください。
- ●水タンクや本体を組み立ててポリ袋などで包み、もとの梱包ケースに入れて湿気の少ないところで保管してください。

⚠注意

よく乾かしてから保管する
湿ったまま保管するとカビの発生や、故障の原因になります。

修理を依頼される前に

「故障かな？」と思ったときは、次の点をお調べください。

このようなとき	お調べいただくこと	処置のしかた
・霧が出ない	・差し込みプラグはコンセントに確実に差し込まれていますか？	・正しく差し込んでください。 10p参照
	・給水の表示（赤色）が点灯していませんか？（水タンクの水がなくなっていませんか？）	・水タンクに給水してください。 12p参照
・霧の出が悪い	・加湿量つまみが「弱」の位置になっていませんか？	・加湿量つまみを「強」の方向にまわしてください。 10p参照
	・振動子の表面に水あかなどの汚れが付着していませんか？	・振動子のお手入れをしてください。 13p参照
・あたたかい霧が出ない	・運転を開始した直後ではありませんか？	・あたたかい霧が発生するまで10〜20分かかります。 9p参照
・電源が途中で切れる	・タイマースイッチが入っていて、時間が過ぎていませんか？	・タイマースイッチを再設定してください。 11p参照

消耗部品について

イオン交換フィルターについて

●イオン交換フィルターの有効処理能力は約400リットルです。それ以上にお使いになりますと、水道水中の硬度成分（カルシウムやマグネシウムなど）の除去能力が低下し、白粉の発生量が多くなります。
●交換の目安は、「加湿量つまみ中央付近」の運転時で約180日です。
（1日あたりの加湿器運転時間を6時間として。）
※ご使用頻度や水質によっては交換の時期が早まりますので、白粉の発生状況に注意してください。

はずすとき ゆるむ
取り付けるとき しまる
タンクキャップ

お求めは

お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。

部　品　名：イオン交換フィルター
部品コード：EX-0530-00
（サービスセンター：TEL 03-3527-8899）

仕　様

項目	内容
品　番	KJ-366HE
電　源	AC100V 50/60Hz
消費電力	125W
加湿量	約500ml/h
連続加湿時間	約13時間
タンク容量	6.5 L
最大加湿時間（最大運転時）	約13時間

項目	内容
適用床面積（目安）（最大運転時）	木造和室……14m²（8畳） コンクリート洋室……23m²（14畳） （ツインノズルを付けた場合）
外形寸法	幅195×奥行き250×高さ325mm (ツインノズルを付けた場合) 幅195×奥行き250×高さ890mm (ロングノズルを付けた場合)
電源コードの長さ	1.8m
質　量	3.4kg（ツインノズルを付けた場合） 3.7kg（ロングノズルを付けた場合）

※加湿量・最大加湿時間は、室温や湿度環境、壁、構造、使用している暖房機などの環境条件によって大幅に左右されますので目安としてください。
・品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。

キリトリ線

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）　無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご提示ご持参いただきお申しつけください。
   （ロ）　お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、当社サービスセンターにご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げ販売店または当社サービスセンターにご相談ください。
3. ご贈答品等で本書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、当社サービスセンターにご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）　使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）　お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）　火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ）　車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ホ）　一般家庭用以外（例えば、業務用としての使用）に使用された場合の故障及び損傷
   （ヘ）　本書のご提示がない場合
   （ト）　本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。
※This warranty is valid only for Japan.